

北海道文化放送（UHB）

2023年日本民間放送連盟賞技術部門 優秀賞受賞

「少人数で安価な視聴率データと 番組内容の可視化・DXツールの自社開発」

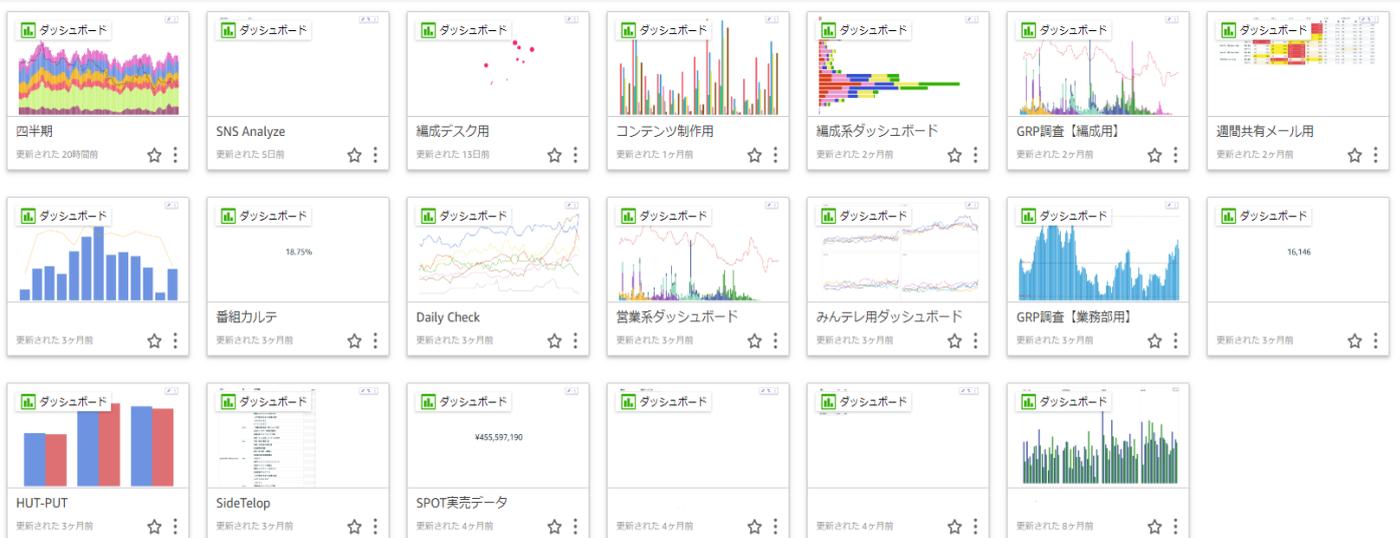
北海道文化放送 技術部門で **31** 年ぶりの受賞！！

北海道文化放送編成部が自社開発し2022年から運用を開始した視聴率データと番組内容・SNSデータの可視化・DXツールが「2023年日本民間放送連盟賞技術部門」において、優秀賞を受賞しました。
技術部門での受賞は31年ぶりの受賞となります。
（※今回技術部門での受賞は最優秀賞1点、優秀賞6点となっています。）

ダッシュボード一覧

ダッシュボード

最終公開日 (新しい順)  



この事例は、視聴率・番組・SNS データなどを可視化するシステムを、クラウドサービスを活用して少人数で安価に自社開発・運用を行い、コンテンツ価値の可視化やコンテンツ内容の改善につながる分析を実現したほか、社内で個人差があったデータ分析のクオリティを平準化するなど、放送業務におけるDX化を推進し、仕事の効率化に大きく貢献するものとなっています。

① 意思決定の正確性、効率性の向上

番組の視聴率が与える影響を可視化しメリット・デメリットを明確にしました。結果として、コンテンツの価値が正確に把握でき、議論すべきポイントが明確になり、意思決定までの時間が短縮されました。

② 自社のタイムテーブル、番組の価値の可視化と、その価値の表現の平準化

これまで提案の際に合わせて出していた視聴率データの中で、効果が高かったものをダッシュボードとして用意することで、誰でも簡単に必要なデータを取り出せる環境を整え、営業部員のデータ集計・分析の個々の習熟度合いによるクオリティ差を少なくすることに寄与しました。

③ 番組・SNS などのコンテンツ内容の改善

データ分析を通じて番組や SNS の改善を促進しました。特に SNS においては、データが自動で収集・可視化されることで作業効率が向上しました。

北海道文化放送ではこれらのシステムを最大限に活かし、今後も放送事業等に役立てていきたいと考えています。

研究・開発担当者：北海道文化放送 編成部 杉本歩基、田中琢也

<日本民間放送連盟賞技術部門について>

過去1年間に民放連会員社において放送技術などに関する開発・改良によって民放事業に貢献し、その発展に寄与したと認められ、その効果があらわれた技術実績が審査対象となっています。今回、北海道文化放送の DX ツール開発が技術面の創意工夫やその的確な運用により、顕著な業務改善・効率化を果たしたと認められる実績として優秀賞に選考されました。

【本件のお問い合わせ先】

北海道文化放送（UHB） 編成局編成部

杉本・田中

TEL：011-214-5271